

「加古川市立幼稚園の今後のあり方について（素案）」に関する パブリックコメントの意見に対する考え方について

◆意見に対する考え方

1 幼稚園の再編について（54件）

少人数での幼児教育は一人一人に対するきめ細かな関わりができるというメリットはありますが、園児の心身の成長においては、一定の集団での活動が重要であると考えています。その基準として、本市の望ましい集団規模については、3歳児は20人以下、4、5歳児は20人以上が1学級の望ましい人数とし、一定の集団規模の確保に向けて統廃合による教育環境の充実について検討を進めてまいります。

2 3年保育の拡充について（101件）

3年保育の拡充については、就学前児童数の減少が見込まれる中で、今後の公立幼稚園に求められるニーズも勘案しながら、市内の就学前施設全体の中で検討していく必要があります。今後、公立・私立の3歳児の申込・入園状況や地域のバランスを踏まえ、検討してまいります。

3 預かり保育の拡充について（127件）

これまで市は私立園と連携・調整を行いながら、子育て支援にかかる取組を行ってきております。預かり保育の拡充を検討するにあたり、私立園とのバランスを考慮しながら、保護者の利用ニーズに即した取組を進めてまいります。

4 給食の実施について（60件）

幼稚園での給食の実施については、施設の整備や実施方法等に課題がありますので、他市の事例も参考に引き続き調査研究してまいります。

5 特別支援教育体制の充実について（16件）

特別支援教育については、引き続き、特別支援ルームを設置し、個々の発達や障害の実態に即して個別の指導・支援を行っていきます。そのために必要な人員の確保に努めるとともに、教員の資質向上と専門機関との連携を充実させ、小学校・支援学校・養護学校へのより円滑な接続に努めてまいります。

6 業務及び人員配置の見直しについて（34件）

園の小規模化により、各園で少人数となっている教諭の負担軽減については、ICTの活用による業務の効率化や加配職員等の配置など検討を進めてまいります。また、人員確保についても、勤務条件の整備など関係部局と協議を進めてまいります。

7 幼稚園の地域等との連携について（51件）

地域に根付いた幼稚園の意義は大きく、地域の小学校や住民の方々との交流を通して、園児の心身の成長が促されるものと認識しています。また、幼稚園から小学校へ進学する際の園児の不安感の低減や意欲の向上にも繋がっているものと考えます。

統廃合を検討する際には、各地域の小学校や住民の方々との繋がりを引き続き感じられるような取組を検討してまいります。

8 通園について（27件）

統廃合を検討する際は、通園距離の延伸により、通園にかかる園児や保護者の方々の負担が極端に増えないよう、また、安全に通園できるよう幼稚園バスの運行や駐車場の整備等について検討を行ってまいります。

9 認定こども園化について（21件）

加古川市立幼稚園及び保育園の今後の運営について明確にするために平成27年9月に策定された「加古川市立幼稚園及び保育園の認定こども園化推進方針」に基づき、各地区の就学前児童数の推移や施設整備状況、民間の認定こども園等の配置状況を踏まえ、市長事務部局と連携しながら、検討を進めてまいります。

10 両荘幼稚園の跡地の活用について（30件）

両荘幼稚園の跡地の活用については、教育委員会だけではなく、市長事務部局も含め今後検討してまいります。

11 市立幼稚園に関する広報の充実について（8件）

市立幼稚園の魅力については、市ホームページや広報誌に加え、様々な媒体を使って引き続きPRしてまいります。

12 幼稚園の施設等の整備について（7件）

園舎や遊具等の整備については、限られた予算の中で、必要に応じて市立幼稚園を順に行っているところです。今後も引き続き、計画的な整備に努めてまいります。

13 教育の質の向上について（7件）

心身の調和のとれた発達を促すための様々な体験活動や、幼児期にふさわしい遊びまたは生活を積み重ねることで、幼児期に身に付けさせたい資質・能力を育む教育に取り組んでいます。

今後も、幼児の心身の成長を促進し、小学校での生活に繋がるような様々な教育について研究し、質の向上に努めてまいります。

14 子育て支援について（6件）

子育て支援については、子育てしやすい環境の整備、子育て世代に選んでいただけるまちを目指し、市立幼稚園だけではなく、保育園、こども園、その他子育て施設等も含め、市長事務部局と連携を図りながら、引き続き魅力ある施策を検討してまいります。

15 私立園との連携について（6件）

公立幼稚園において、3歳児保育の拡充、預かり保育の拡充等を実施することは、少なからず私立園に対して影響を与えるものと認識しています。今後も私立園とは情報を共有させていただき、市長事務部局、教育委員会を含め、地域の実態に応じたよりよい就学前教育のあり方について協議を重ね、市全体の就学前教育の質の向上について注力していきたいと考えています。

この他にも、より良い市立幼稚園のあり方について、多くの貴重なご意見をいただきました。それぞれのご意見については、今後の幼稚園運営や就学前教育のあり方の検討の参考とさせていただきます。